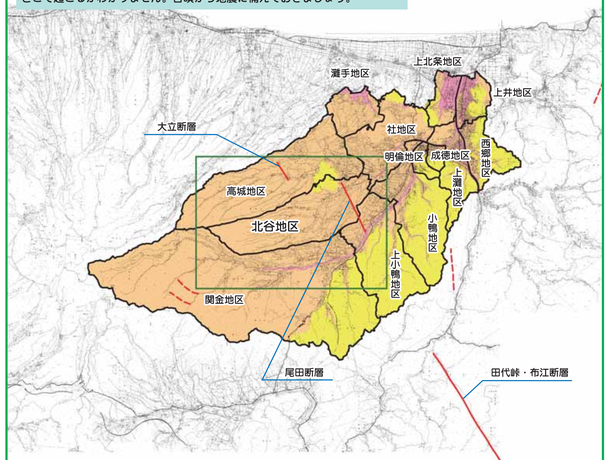
倉吉市の 地震ハザードマップ

北谷地区版

倉吉市周辺の地震と活断層

倉吉市周辺では、過去にいくつかの地震を経験しています。
1710年10月 3日　東伯郡を中心に強いゆれ
1943年 9月10日　鳥取地震。倉吉市付近でも余震が発生
1983年10月31日　震度4のゆれ。この地震による負傷者10名
2000年10月 6日　鳥取県西部地震。この地震による負傷者182名
（出典：新編 日本被害地震総覧[増補改訂版416-1995],宇佐美龍夫,東大出版会）

また、倉吉市内には、尾田断層、大立断層という活断層があります。地震はいつどこで起こるかわかりません。日頃から地震に備えておきましょう。



倉吉市全体のゆれやすさマップ

震度5強	震度6弱	震度6強	震度7

※倉吉市内においては、震度7が予想される地域はありません。

活断層
活断層の疑いがあるもの

お問い合わせ先
倉吉市総務部総務課
〒682-8611 鳥取県倉吉市葵町722
TEL：0858-22-8162
FAX：0858-22-1087

倉吉市 KURAYOSHI CITY
平成19年3月作成

地震に備えて(日頃の備えを)

地震に備えて、日頃から非常用持出品を用意しよう！

チェックリスト で確認しよう！

- □ 懐中電灯
- □ ラジオ
- □ ホイッスル
- □ 常備薬
- □ 飲料水、非常食(缶詰やレトルト食品など)
- □ お金(公衆電話用の10円など)
- □ 運転免許証、預金通帳、印鑑、保険証など
- □ 携帯電話と充電器
- □ メガネ、コンタクトレンズ
- □ キッチン用ラップ
- □ 紙コップと器
- □ 下着、着替え
- □ 生理用品
- □ ガスコンロ
- □ 毛布
- □ 飲料水をためるポリタンク
- □ 寝袋
- □ 食器類
- □ 調理器具
- □ 工具

地震に備えて(家具の転倒防止)

地震発生時、家具の転倒によってケガをしたり、避難経路がふさがれてしまったりすることがあります。いざというときのために、家具を固定しておきましょう。

■収納に工夫を！
重いものは下に、軽いものは上に。本棚などは、隙間をブックエンドで固定するなど、なるべく隙間を作らない。

■置き方に工夫を！
家具の下部の前方に転倒防止のビニール樹脂状のものを入れ、壁にもたれ気味にしておく。就寝場所には、家具が倒れてこないように配置する。出入口や通路には、なるべく荷物を置かないように。

■照明器具の補強を！
吊り下げ式蛍光灯は、チェーンなどで止める。

■耐震金具を利用しよう！

●転倒防止金具
壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、床などに固定するタイプがあります。
家具や室内の状況によって使い分けましょう。

●重ね留め用金具
重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎます。

●扉・引き出し開放防止金具
地震発生時に、扉・引き出しが開かないように固定します。さらに、収納物の落下を防止するために棚板にふきんを置いたり、木やアルミ棒による飛び出し防止枠をつけると安心です。

●透明シート
収納物が飛び出して、ガラスが割れるのを防ぎます。

地震が起こったら(避難のときの心得)

避難のときは、こんな服装で！
- ●ヘルメット(防災ずきん)をかぶる。
- ●非常用持出品は、両手がふさがらないようにリュックサックにいれて背負う。
- ●長袖、長ズボンを着用(燃えにくい木綿製品がよい)する。
- ●軍手をはめる。靴は底の厚い、はき慣れたものを。

避難のときの注意点
- ●避難の前に、もう一度火の元、ガスの元栓、電気ブレーカーを確認しましょう。
- ●荷物は最小限で
- ●塀や自動販売機など倒れやすいものには近づかない。また、垂れ下がった電線などは危険なので、そばに寄らないようにしましょう。
- ●子供、障害者、高齢者等の避難は、地域の人々で協力しましょう。

わが家の防災メモ

あらかじめ記入し、家族みんながわかるところに置いておきましょう。

火事・救急 119番　**警察 110番**

緊急連絡先

連絡先	電話	連絡先	電話
倉吉市総務課	0858－22－8162		
倉吉市支所管理課	0858－45－2111		
ガス会社			
電力会社			

家族の連絡先

家族の名前	連絡先（勤務先・学校）	電話

安否確認方法

避難所

家族が離ればなれになったときの集合場所

家族が離ればなれになったときの連絡方法

災害時の伝言サービスを活用しましょう

地震などの災害発生時には、安否の確認や連絡用に各電話会社から災害時の伝言サービスが無料で提供されています。詳しくは、各電話会社のサービス内容をご確認ください。

NTT西日本
171 をダイヤルして、「災害伝言ダイヤル 171」を利用することができます。

NTTドコモ
「iMenu」のトップに表示される「災害用伝言板」を選択して、利用することができます。
(http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi)

au
EZweb のトップメニューに表示される［災害用伝言板］を選択して、利用することができます。
(http://dengon.ezweb.ne.jp/)

SoftBank
Yahoo! Keitai のトップから「災害用伝言板」を選択して、利用することができます。
(http://dengon.softbank.ne.jp/)

自主防災組織をつくろう

「自分たちの地域は自分たちで守る」ことが地域防災の基本です。そして、地域防災活動の主体となるのは自主防災組織です。自主防災組織を結成し、災害に強いまちづくりを推進しましょう。現在、倉吉市内では自治公民館が中心となって、自主防災組織を結成しようという意識が高まっており、結成率は徐々に上がってきています。

わが家とわがまちを守ろう

市内で大きな災害が発生したとき、私たちの住む地域はどうなるのでしょうか。広い範囲で発生する被害に対して防災関係機関が十分に対処できないことも考えておかなければなりません。

いざというとき、被害を最小限に抑えるためには、地域住民による防災活動が必要になります。「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を持ち、自主防災活動に取り組んでいきましょう。

自主防災組織の主な役割と活動

＜平時の活動＞
- ・防災知識の普及
- ・地域内の安全点検
- ・各家庭での安全点検
- ・防災資機材の点検整備
- ・防災訓練の実施
- ・災害時要援護者の把握と支援体制の整備

＜災害時の活動＞
- ・災害情報の収集と伝達
- ・出火防止および初期消火
- ・住民の避難誘導
- ・災害時要援護者の避難誘導
- ・負傷者の救出、救護活動
- ・炊き出しや水、食料などの配分

自主防災組織とは？

災害に対して地域ぐるみで力を発揮するためには、地域住民による組織的な防災活動が必要です。自主防災組織は、住民同士が協力して自発的に結成するもので、自主防災活動の主体になります。

●自主防災組織をつくる(活動をすすめる)ための手順は以下のような方法があります。

自治公民館の組織を上手に利用しよう

1）自治公民館の会合で、地域の危険な箇所、災害の特性及び必要な防災活動について話し合いましょう。

2）会合で防災活動の内容やリーダー、役割分担を話し合って、自主防災組織の規約を作成し、自主防災組織を結成します。

自主防災組織の編成例

会長 ― 副会長 ― 情報班
　　 ― 救出救助班
　　 ― 消防班
　　 ― 避難誘導班
　　 ― 医療救護班
　　 ― 給食給水班

※具体的な組織編成などは、地域の実情に応じて定めましょう。

3）倉吉市に自主防災組織の結成の届出を行います。
※自主防災組織に関する相談窓口：倉吉市総務部総務課

市や消防署と一緒になって

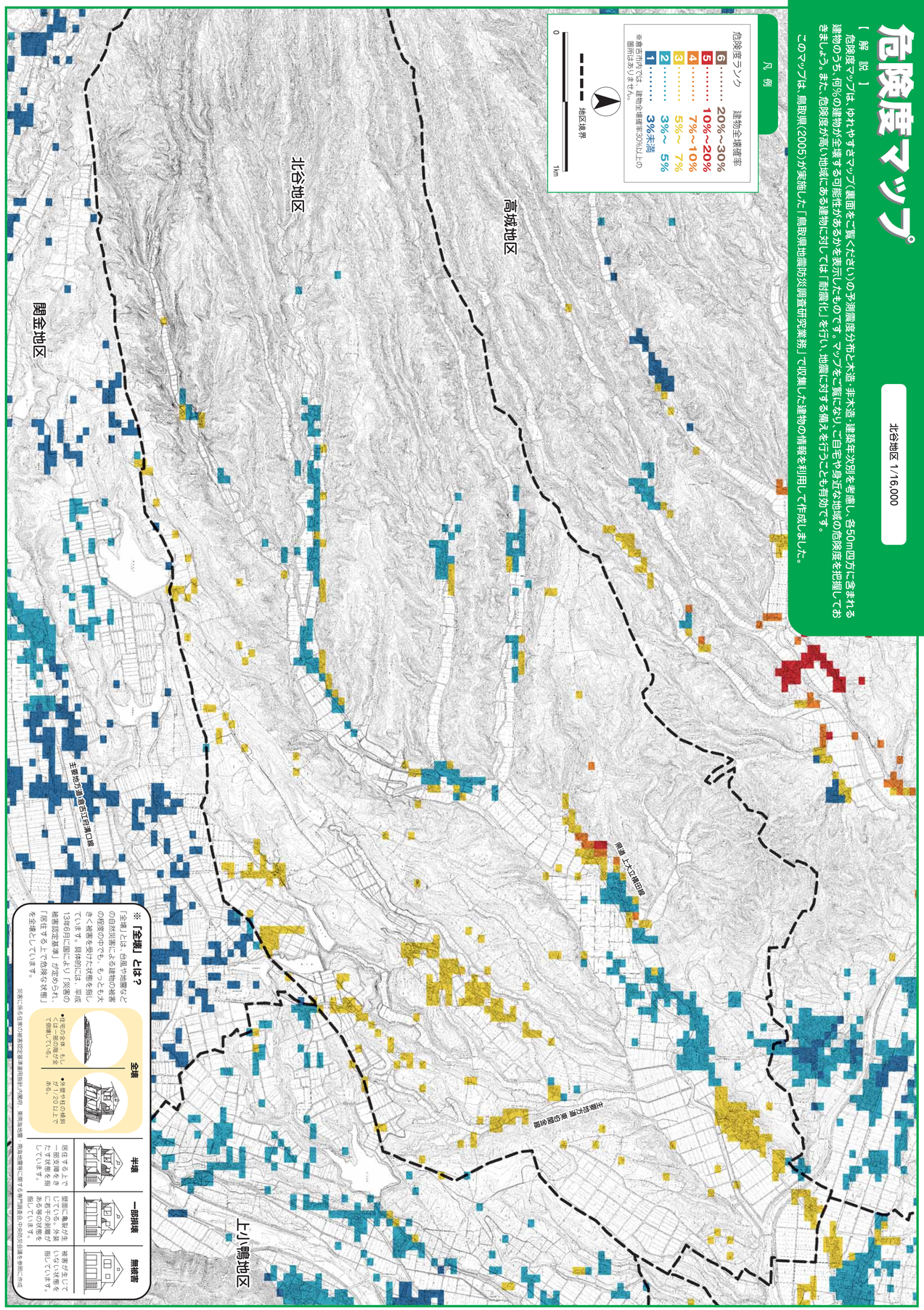
自主防災組織は、倉吉市や消防署などと連携して活動する必要があります。組織を結成したら、倉吉市や消防署などの支援を受けながら、防災研修、防災訓練の実施や防災資機材の整備を行い、地域防災力の向上を図りましょう。

危険度マップ

【解説】
危険度マップは ゆれやすさマップ(裏面をご覧ください)の予測震度分布と木造・非木造、建築年次別を考慮し、各50m四方に含まれる建物のうち、何%の建物が全壊する可能性があるかを表示したものです。マップをご覧になり、ご自宅や身近な地域の危険度を把握しておきましょう。また、危険度が高い地域にある建物に対しては「耐震化」を行い、地震に対する備えを行うことも有効です。

このマップは、鳥取県(2005)が実施した「鳥取県地震防災調査研究業務」で収集した建物の情報を利用して作成しました。

北谷地区 1/16,000



※「全壊」とは？
「全壊」とは、台風や地震などの自然災害による建物の被害の程度の中でも、もっとも大きく被害を受けた状態を指しています。具体的には、平成13年6月1日に内閣府により「災害の被害認定基準」が定められ、「居住する上で危険な状態」を全壊としています。

全壊
●住宅の基礎、もしくは柱の3分の1以上が破壊されている。

半壊
●住宅の基礎、もしくは柱の1/20以上が破壊されている。

一部損壊
居住するにあたって問題は発生しませんが、たとえば屋根の一部が破損している状態です。

無被害
被害は生じていない状態です。

※災害に強い家づくりのための中古住宅の選び方・直し方・建て方の工夫
※地震保険の加入を考えましょう